

令和5年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

| 視点 | 4年間の目標 (令和2年度策定) | 1年間の目標 | 取組の内容 | | 校内評価 | | 学校関係者評価 (月 日実施) | 総合評価 (月 日実施) | |
|----------------------|--|--|--|---|------|----------|--------------------|--------------|-------|
| | | | 具体的な方策 | 評価の観点 | 達成状況 | 課題・改善方策等 | | 成果と課題 | 改善方策等 |
| 1 教育課程 学習指導 | 【学力向上進学重点】 ① 生徒の資質・能力を更に伸ばし、進路実現に向けた柔軟で効果的な教育課程編成に取り組む。 ② 高度な課題解決力を育み、深い学びを実現する授業の実践に取り組む。 | ①新学習指導要領の趣旨を踏まえ、難関国公立大学やスーパーグローバル大学（トップ型）等の上級学校への進学を担保した教育課程編成を推進し、一層の指導の充実を図る。 ②主体的、対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進を図る。 ③1人1台端末を効果的に活用するための授業の研究開発を推進し、指導の充実を図る。 | ①生徒が希望する進路の実現のため、難関国公立大学やスーパーグローバル大学（トップ型）等の上級学校を受験するのに求められる指導を行うための教育課程編成となっているか検証を行う。 ②生徒が希望する進路の実現を目指す授業の展開について他校の情報なども得ながら研究・実践を進める。 ③課題や振り返りなどの双方向のやり取りに1人1台端末を用いるなど効果的に活用していく。 | ①生徒が本当に望む進路を実現できたか。また、難関国公立大学等の上級学校への受験者率が増加したか。 ②学習の質を一層高める組織的な授業改善の取組の機会を設けることができたか。 ③1人1台端末の効果的な活用について、職員間で事例共有が十分にできたか。 | | | | | |
| 2 (幼児・児童・)生徒指導・支援 | 【文武両道】 ①メンタルケア等が必要な生徒に対する教育相談支援体制の充実など、安心して安全な学校づくりを進める。 ②部活動や学校行事等を通してリーダーとしての思いやりやたくましさの涵養を図る。 | ①今年度より全校配置となったSC及びSSWと連携し、生徒の支援体制を構築していく。 ②「高い次元の文武両道」の校是のもと部活動の持続可能な運営体制を整備する。 | ①学年会で生徒情報を共有し、生活支援GとSCおよびSSWと密に連携を取りながらよりよい支援策を検討・実践していく。 ②改訂された「部活動の方針」に沿った合理的な指導について職員間で共通理解を進める。 | ①事後措置ではなく、予防的な措置が行えているか。 ②生徒が「高い次元の文武両道」を実現できたか。 | | | | | |
| 3 進路指導・支援 | 【進路実現】 一人ひとりの進路希望に応じた適切な進路指導の充実を図る。 | ①的確な情報提供や補習・講習の充実など、組織的な進路指導を推進する。 ②外部模擬試験等の活用を通して、有効な教科 | ①生徒のニーズに応じた夏季休業中の補習・補講を実施する。 ②ベネッセ FINE システムを有効活用する。 ②模試の受験科目を絞らせず、 | ①各教科で、生徒のニーズに合わせた現状に見合った講座の開講を検討できたか。 ②全職員が FINE システムを活用できるように研 | | | | | |

| 視点 | 4年間の目標 (令和2年度策定) | 1年間の目標 | 取組の内容 | | 校内評価 | | 学校関係者評価 (月 日実施) | 総合評価(月 日実施) | | |
|----|---------------------|---|---|--|---|----------|--------------------|-------------|-------|--|
| | | | 具体的な方策 | 評価の観点 | 達成状況 | 課題・改善方策等 | | 成果と課題 | 改善方策等 | |
| | | 指導や進路指導の充実を図る。 | 幅広い受験に対応できる実力をつけられるよう指導する。 ②各自の端末に、模試受験前の目標、受験後の振り返りの記録をつけるように指導する。 | 修会を開催できたか。 ②模試を意欲的に受験する態度が養えたか。 ②模試受験に効果的なPDCAサイクルをまわすことができたか。 | | | | | | |
| 4 | 地域等との協働 | 【連携】 地域との連携を深め、地域に開かれた学校づくりを進める。 | ①学校の情報発信を強化する。 | ①ホームページの充実や地域等との交流機会を設ける。 | ①生徒が地域貢献の意識を高めることができたか。 | | | | | |
| 5 | 学校管理 学校運営 | 【信頼】 ①保護者との連携を深める。 ②不祥事防止の徹底を通じて県民から信頼される学校づくりを進める。 | ①PTAと協働したり学校生活の様子を公開したりすることで、教育活動の向上を図る。 ②職員がリスクマネジメントの意識を高め、適正に業務を執行する。 | ①行事・授業等の見学や保護者アンケートの機会を確保する。 ②統合型校務支援システムの効果的な運用を研究する。職員間のコミュニケーションを活性化させる。 | ①PTAとの協働が円滑に進み、保護者等との連携が深まったか。 ②統合型校務支援システムの課題等について把握し本格運用に向けて準備ができたか。 | | | | | |